

<浜松医科大学医学部附属病院> 泌尿器科

<プログラム類型>

②基本コース

<プログラム概要>

本プログラムは、拠点施設である浜松医科大学附属病院において高度な医療に携わり本邦の標準治療や先進的な医療を経験し学ぶとともに、地域医療を担う連携病院での研修を行います。「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、静岡県の医療事情を理解し、泌尿器科専門医として静岡県全域を支える人材を育成します。

<取得できる資格>

日本泌尿器学会泌尿器科専門医

<現時点の受入見込数>

5 人

<具体的なコース> ← うち、4年間を医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 4年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 3年
県内病院	4年間の研修期間のうち、1年間は専門研修プログラム基幹教育施設(浜松医科大学)、残りの3年間は下記病院のうち原則1年以上2か所に勤務。	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方	県立静岡がんセンター	
富士		
静岡		
志太榛原	焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院(申請中)	
中東遠	中東遠総合医療センター、磐田市立総合病院	
西部	JA静岡厚生連遠州病院、市立湖西病院、浜松医療センター、聖隷三方原病院、聖隷浜松病院	